

# 秋のおたより

金子みすゞ

山から町へのお便りは、  
「柿の實、栗の實、熟れ候、  
ひよどり、鶉、啼き候、  
お山はまつりになり候。」

町から山へのおたよりは、  
「燕がみんな、去に候、  
柳の葉っぱが散り候、  
さむく、さみしく、なり候。」



「金子みすゞ全集」(JULIA出版局)

## 表紙の説明

感謝の気持ちを胸に学び舎を巣立つ

## 各小中学校で卒業式

3月7日(土)に市内各中学校で、19日(木)に市内各小学校で卒業式が行われ、あわせて480人の児童生徒が慣れ親しんだ学び舎を後にしました。

新型コロナウイルス感染症対策により、在校生の参加は叶いませんでしたが、卒業を迎えた児童生徒たちは、前を向き、凛とした表情で式に臨んでいました。また、式終了後は教室に戻り、友達と記念撮影をしたり、教師への感謝の気持ちを贈るなど、学び舎との別れを惜しんでいました。



▲記念撮影するなど別れを惜しむ

## 長門市のDATA

(令和2年3月1日)

人口	33,494人	(-47)
男	15,565人	(-17)
女	17,929人	(-30)
世帯数	15,879世帯	(-19)

( )内は先月比

〔2月分〕	出生	7人	死亡	38人
	転入	39人	転出	55人

## 編集後記

思い起こせば9年前、未曾有の大震災が東日本を襲い、多くの尊い命が犠牲となりました▼震災直後、公共CMとして繰り返しテレビで放送されたみすゞさんの詩「こだまでしょうか」は、被災者のみならず全国の多くの人の共感を呼び、悲惨な状況の中でも一服の安らぎと癒しを与えてくれたように思います▼この編集後記を書いている時点で、まだ新型コロナウイルス感染症の終息は見えません。世の中全体に閉塞感が漂いますが、みすゞさんは「明るい方へ明るい方へ」と詩に読んでいます。世の中はすべて明るい方へ向かう、そう信じてこの難局を乗り切っていきたいと思います。

